

10月の天候

2023年（令和5年）10月の特徴：

○気温は、北日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった

気温は、日本近海の海面水温が顕著に高かった影響や、寒気の影響が一時的だった北日本でかなり高く、暖かい空気に覆われやすかった沖縄・奄美で高かった。

○降水量は、西日本日本海側と沖縄・奄美でかなり少なく、西日本太平洋側で少なかった一方、北・東日本日本海側で多かった

降水量は、低気圧の影響を受けにくかった西日本日本海側と沖縄・奄美でかなり少なく、西日本太平洋側で少なかった。一方、一時的に低気圧や低気圧通過後の寒気の影響を受けやすかった北・東日本日本海側で多かった。

○日照時間は、全国的に多く、特に北・西日本日本海側と北・東・西日本太平洋側でかなり多かった

高気圧に覆われ晴れた日が多かったため、日照時間は全国的に多く、北・西日本日本海側と北・東・西日本太平洋側でかなり多かった。

1 概況

天気は周期的に変化し、全国的に高気圧に覆われ晴れた所が多かったため、月間日照時間は全国的に多く、北・西日本日本海側と北・東・西日本太平洋側でかなり多かった。月降水量は低気圧の影響を受けにくかった西日本日本海側でかなり少なく、西日本太平洋側で少なかった。一方、北・東日本日本海側を中心に、一時的に低気圧や低気圧通過後の寒気の影響を受けやすかったため、月降水量は北・東日本日本海側で多かった。北・東日本を中心に6日は大荒れとなったほか、20日頃や27日から28日にかけて大雨となった所があった。また、8日から9日にかけてと15日には本州南岸を通過した低気圧の影響で東・西日本で大雨となった所があった。日本付近は、低気圧通過後に寒気が流れ込み、東・西日本を中心に気温が平年を下回った時期もあった。一方、全国的に日本近海の海面水温が顕著に高かった影響を受け、北日本では寒気の影響も一時的で月平均気温はかなり高かった。沖縄・奄美では、台風第14号や前線の影響で上旬に曇りや雨の日があったが、その後は晴れた日が多く、月降水量はかなり少なかった。また、上旬を中心に前線の南側になり、台風第14号周辺から流れ込む暖かい空気に覆われ平年よりかなり高かったため、月平均気温は高かった。

2 気温、降水量、日照時間等の気候統計値

(1) 平均気温

北日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。帯広、釧路、根室（以上、北海道）では月平均気温の高い方からの1位を更新し、小樽、札幌（以上、北海道）では月平均気温の高い方からの1位タイを記録した。東・西日本では平年並だった。

(2) 降水量

西日本日本海側と沖縄・奄美でかなり少なく、西日本太平洋側で少なかった。松山（愛媛県）では月降水量の少ない方からの1位を更新し、山口（山口県）では月降水量の少ない方からの1位タイを記録した。一方、北・東日本日本海側で多かった。北・東日本太平洋側では平年並だった。

(3) 日照時間

全国的に多く、特に北・西日本日本海側と北・東・西日本太平洋側でかなり多かった。小名浜（福島県）、東京（東京都）等9地点では月間日照時間の多い方からの1位を更新した。

(4) 地域平均平年差（比）の1位の値の更新状況¹

- ・月平均気温の高い記録を更新した地域
北海道地方
- ・月平均気温の低い記録を更新した地域
なし
- ・月降水量の多い記録を更新した地域
なし
- ・月降水量の少ない記録を更新した地域
四国地方
- ・月間日照時間の多い記録を更新した地域
東北太平洋側
- ・月間日照時間の少ない記録を更新した地域
なし

(注)

- ・地域平均平年差（比）の1位の値の更新状況にはタイ記録も含んでいる。タイ記録は「*」で表す。

¹ 地域平均平年差（比）の1位の値の更新状況について、9月の天候までは、北日本、東日本、西日本及びそれらの日本海側と太平洋側並びに沖縄・奄美については、更新状況を概況で言及することから、基本的に記載の対象外であったが、10月の天候からは、これらも含め次頁の「地域平均平年差（比）と階級」に掲載する全ての地域を記載の対象とする。

地域平均平年差（比）と階級（2023年10月）

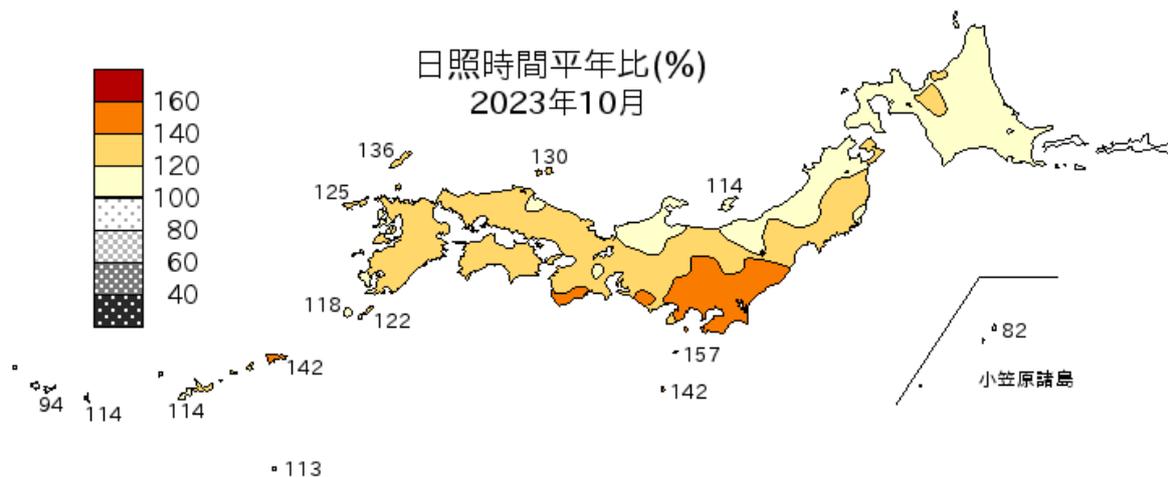
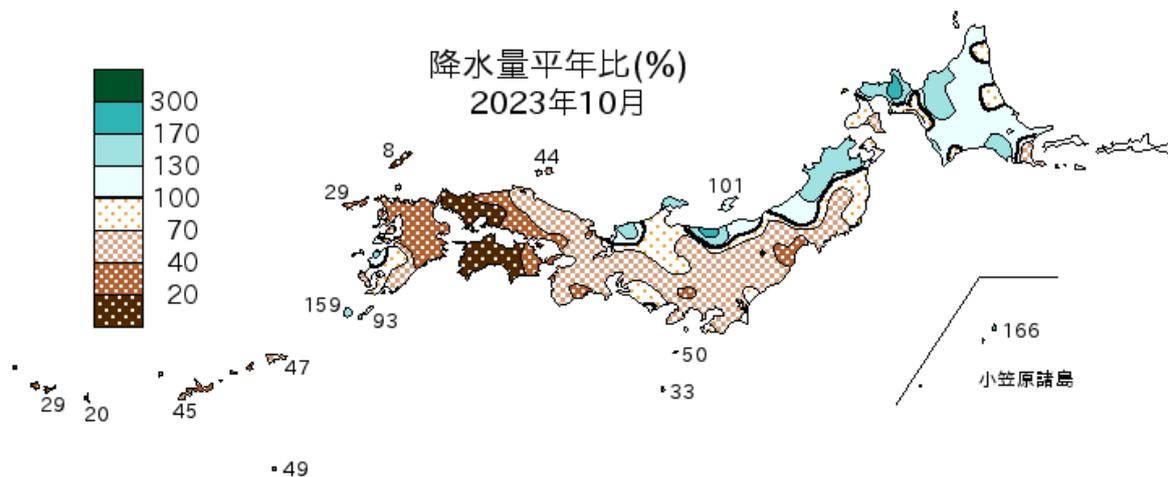
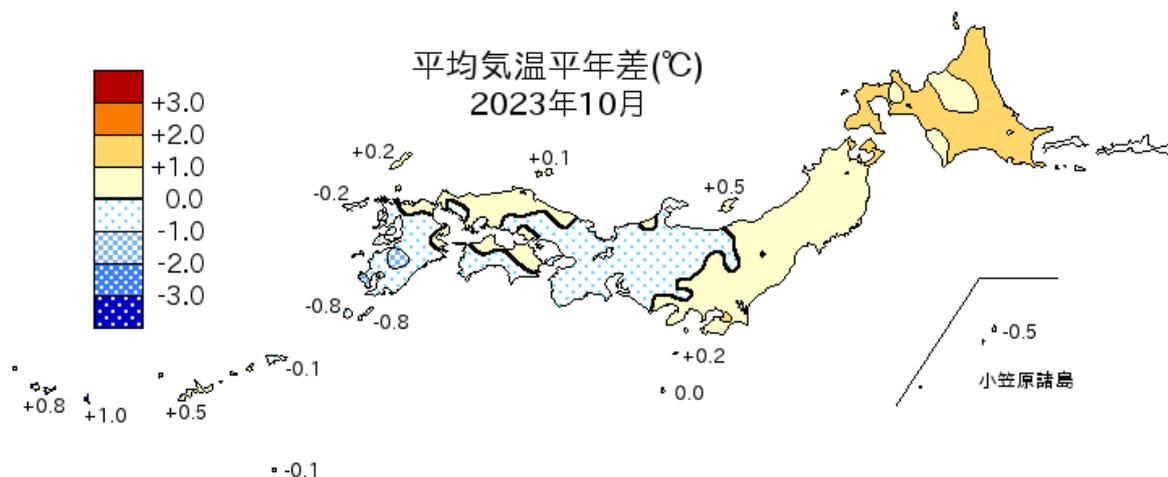
	気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)
北日本	1.0 (+)*	99 (○) 日 123 (+) 太 78 (○)	118 (+)* 日 114 (+)* 太 122 (+)*	北海道	1.2 (+)*	111 (○) 日 132 (+) オ 105 (○) 太 88 (○)	112 (+)* 日 114 (+) オ 107 (+) 太 111 (+)
東日本	0.0 (○)	75 (○) 日 118 (+) 太 63 (○)	135 (+)* 日 116 (+) 太 140 (+)*	東北	0.7 (+)	83 (○) 日 115 (○) 太 61 (-)	127 (+)* 日 115 (+) 太 135 (+)*
西日本	-0.2 (○)	42 (-)* 日 38 (-)* 太 45 (-)	125 (+)* 日 125 (+)* 太 126 (+)*	関東甲信	0.2 (○)	60 (-)	145 (+)*
沖縄・奄美	0.5 (+)	39 (-)*	110 (+)	北陸	0.0 (○)	118 (+)	116 (+)
				東海	-0.2 (○)	68 (○)	132 (+)*
				近畿	-0.2 (○)	49 (-) 日 51 (-) 太 49 (-)	129 (+)* 日 129 (+)* 太 129 (+)*
				中国	0.2 (○)	36 (-)* 陰 44 (-)* 陽 26 (-)*	124 (+)* 陰 123 (+)* 陽 124 (+)*
				四国	-0.1 (○)	16 (-)*	126 (+)*
				九州北部	-0.2 (○)	34 (-)	124 (+)
				九州南部 ・奄美	-0.6 (-) 本 -0.8 (-) 奄 0.2 (○)	72 (○) 本 80 (○) 奄 35 (-)	124 (+) 本 123 (+) 奄 132 (+)*
				沖縄	0.7 (+)	41 (-)	103 (○)

階級表示 ー:低い(少ない) ○:平年並 +:高い(多い)
*はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
オ:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
太:太平洋側

- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。
- ・本文中の北・東・西日本の降水量・日照時間・降雪量の特徴は、日本海側・太平洋側の階級に基づいて記述している。

平年差（比）図（2023年10月）



3 旬別の天候経過

上旬：北日本では、一時的に低気圧や低気圧通過後の寒気の影響を受けやすかったため、旬降水量は北日本日本海側でかなり多かった。6日には発達した低気圧の影響で大荒れとなった所があった。東・西日本では天気は周期的に変わり、8日から9日にかけて本州南岸を通過した低気圧の影響で、大雨となった所もあった。沖縄・奄美は、台風第14号や前線の影響などで曇りや雨の日が多かった。北・東・西日本で長く続いていた気温のかなり高い状態は、偏西風の南下により解消したが、日本近海の海面水温が顕著に高い影響を受けやすかった北日本では、旬平均気温は高かった。また、旬を通して暖かい空気に覆われやすかった沖縄・奄美では、かなり高かった。

旬平均気温は、沖縄・奄美でかなり高く、北日本では高かった。東・西日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側で多かった。一方、西日本日本海側で少なかった。北・東・西日本太平洋側、沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本日本海側、西日本太平洋側、沖縄・奄美で少なかった。北日本日本海側、北・東日本太平洋側では平年並だった。

中旬：北日本では、旬の前半は移動性高気圧に覆われて晴れた所が多かったが、後半は北日本日本海側を中心に低気圧や上空の寒気の影響を受けやすかった。このため、旬降水量は北日本日本海側で多かった。20日頃は北日本を中心に低気圧の影響で大雨となった所があった。一方、旬間日照時間は北日本太平洋側でかなり多かった。東・西日本では移動性高気圧に覆われて晴れた所が多く、旬間日照時間は東日本日本海側と東日本太平洋側でかなり多かった。15日には本州南岸を通過した低気圧の影響で東日本太平洋側では大雨となった所があった。沖縄・奄美では、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。気温は、北日本ではオホーツク海付近を進む低気圧に流れ込む暖かい空気に覆われた時期があったことや、寒気の影響が一時的だったため、旬平均気温は高かった。

旬平均気温は、北日本で高かった。東・西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、北・東日本日本海側で多かった。一方、西日本日本海側、西日本太平洋側と沖縄・奄美で少なかった。北・東日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、全国的に多く、東日本日本海側と北・東日本太平洋側でかなり多かった。

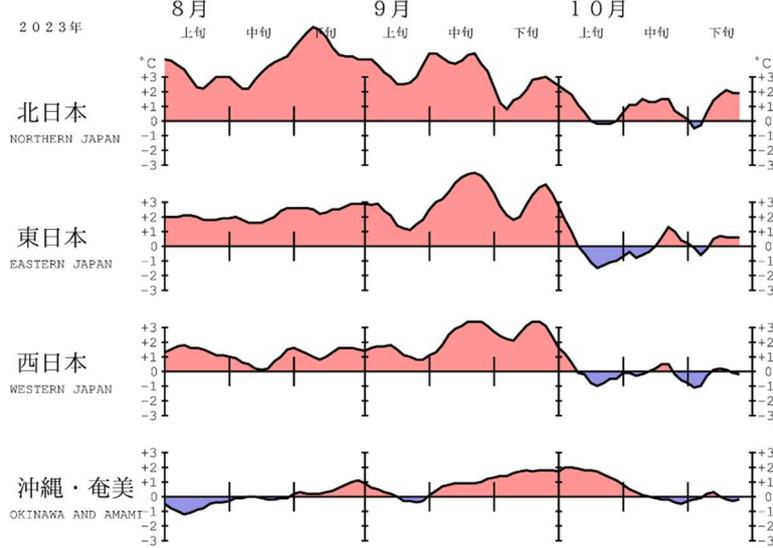
下旬：全国的に高気圧に覆われ、晴れた所が多くなり、旬間日照時間は全国的に多く、北・西日本日本海側と北・東・西日本太平洋側でかなり多かった。1961年の統計開始以降、10月下旬として、東日本太平洋側(平年比156%)、西日本日本海側(平年比157%)、西日本太平洋側(平年比162%)では1位の多照となった。旬降水量は東・西日本太平洋側でかなり少なく、北・西日本日本海側と北日本太平洋側、沖縄・奄美で少なかった。一方、一時的に低気圧や低気圧通過後の寒気の影響を受けやすかった東日本日本海側で多かった。北・東日本を中心に27日から28日にかけて大雨となった所があった。旬平均気温は、寒気の影響が一時的だった北日本で高かった。一方、寒気の影響を受けやすかった西日本で低くなった。東日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬平均気温は、北日本で高かった。一方、西日本で低かった。東日本と沖縄・奄美では平年並だった。

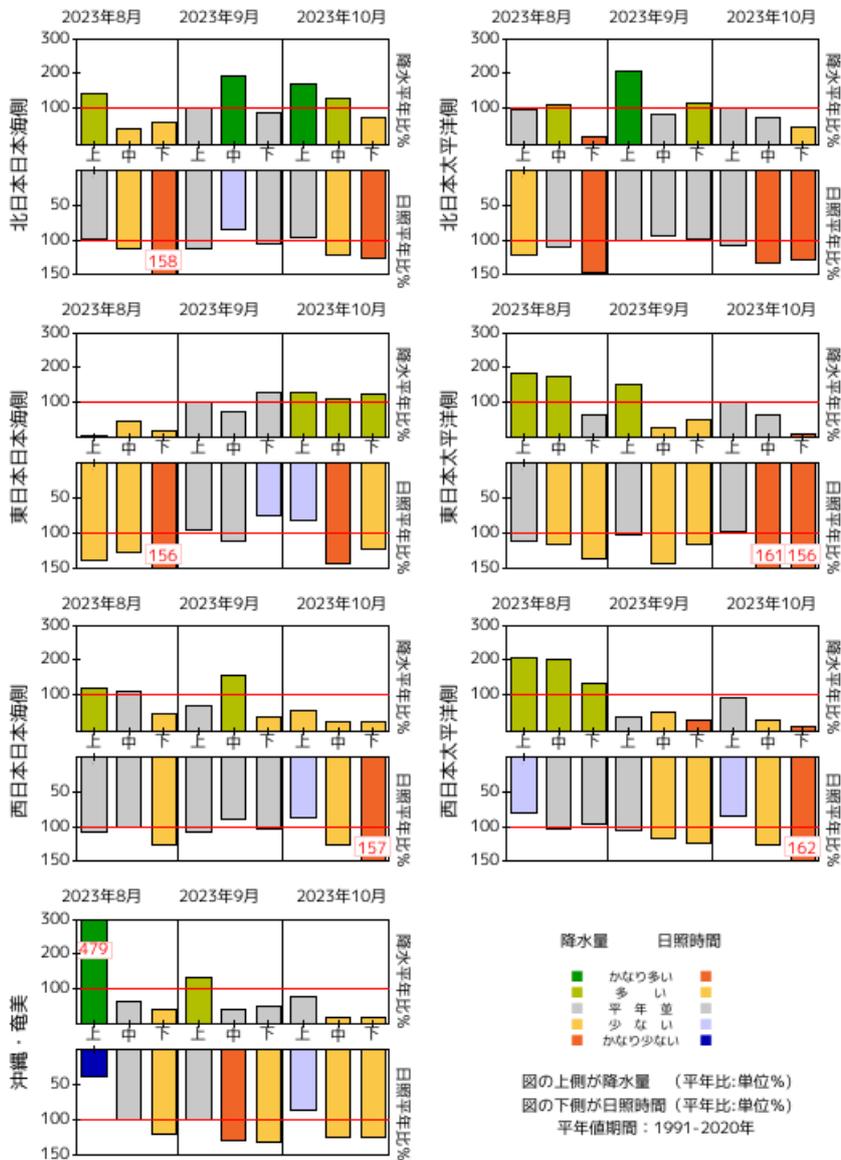
旬降水量は、東・西日本太平洋側でかなり少なく、北・西日本日本海側と北日本太平洋側、沖縄・奄美で少なかった。一方、東日本日本海側で多かった。

旬間日照時間は、全国的に多く、北・西日本日本海側と北・東・西日本太平洋側でかなり多かった。

地域平均気温平年差の経過（5日移動平均）

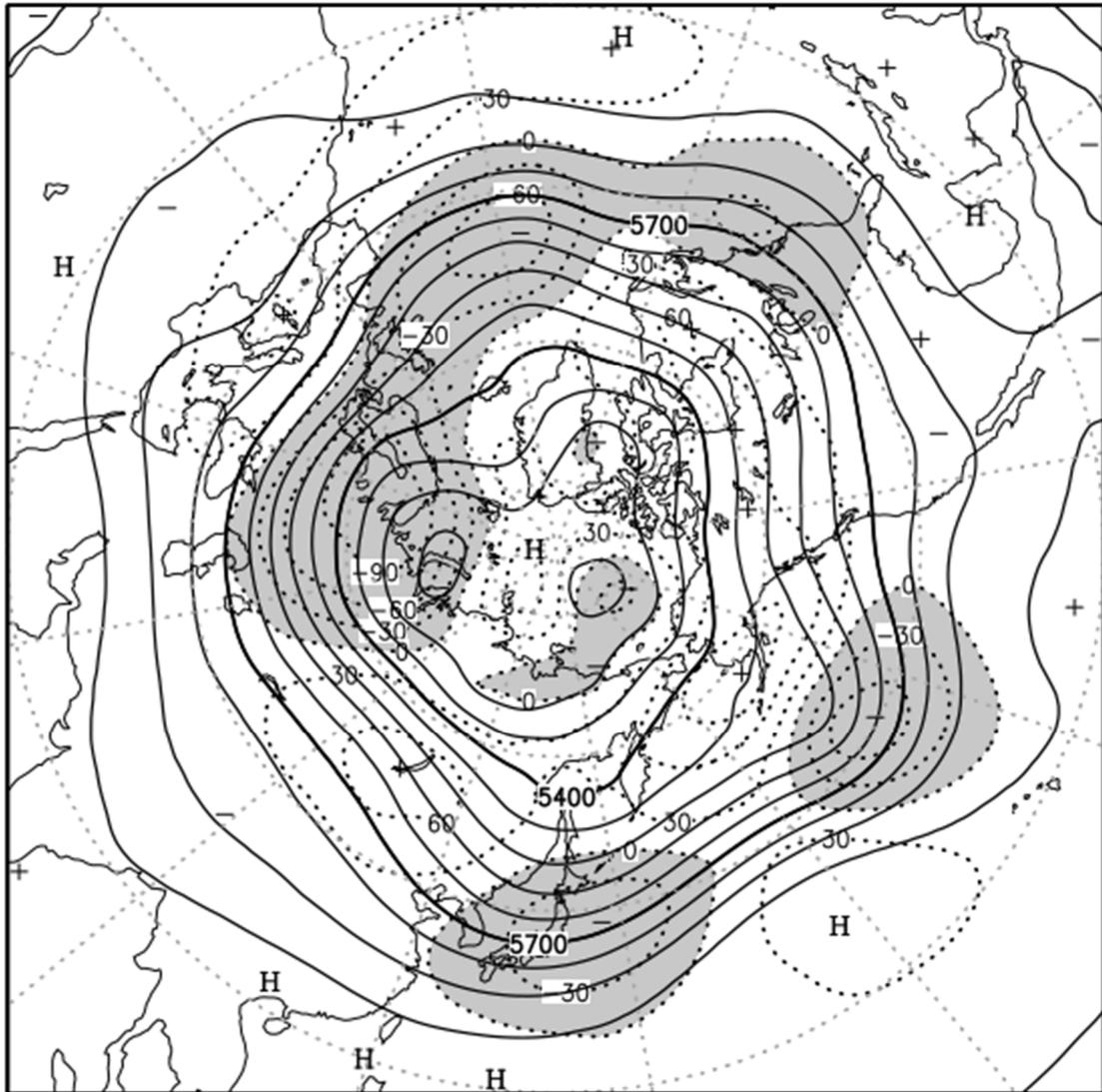


旬降水量および旬間日照時間の地域平均平年比の時系列



4 大気の流れの特徴

500hPa 天気図：亜熱帯ジェット気流は平年より南の東・西日本付近を流れ、日本付近が気圧の谷となり、高度は本州付近を中心に負偏差だった。このため、東・西日本を中心に寒気の影響を受けた時期があった。また、南から湿った空気が入りにくく、下降流となりやすかったため、全国的に日照時間が多かった。寒帯前線ジェット気流は東シベリアからオホーツク海付近を流れ、低気圧がオホーツク海付近を進み、暖かい空気が流れ込んだため、北日本では暖かい空気に覆われやすかった時期があった。



2023年10月の500hPa高度・偏差（等値線間隔 実況（実線）60m、偏差（破線）30m）
陰影域は負偏差

（この図は10月1日～30日までのデータで作成しています。）

5 全国気候表 2023年10月

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
札幌	13.3	(+1.2)	+*	88.5	(81)	○	11	177.3	(122)	+*
稚内	13.2	(+1.9)	+*	139.5	(108)	+	17	143.9	(107)	○
北見枝幸	11.8	(+1.5)	+*	121.0	(95)	○	13	151.2	(106)	+
旭川	10.3	(+0.9)	+	125.0	(118)	+	15	129.8	(103)	+
留萌	12.0	(+0.9)	+	185.5	(141)	+	13)	150.8	(121)	+
羽幌	12.5	(+1.3)	+*	162.0	(107)	○	13	140.8	(112)	+
岩見沢	11.8	(+1.0)	+*	182.0	(165)	+*	13	171.8	(124)	+*
倶知安	10.5	(+0.8)	+	247.0	(193)	+*	16	141.3	(111)	+
小樽	13.0	(+1.2)	+*	203.0	(165)	+*	15	148.5	(106)	+
寿都	13.4	(+1.3)	+*	196.0	(153)	+	13)	142.7	(118)	+
網走	12.2	(+1.3)	+*	103.0	(117)	○	9	176.6	(112)	+
紋別	11.8	(+1.3)	+*	73.5	(83)	○	9	162.1	(109)	+
雄武	11.3	(+1.5)	+*	115.0	(125)	+	10	154.3	(102)	○
釧路	12.5	(+1.5)	+*	151.5	(134)	+	7	188.2	(106)	+
根室	13.2	(+1.6)	+*	51.0	(40)	-	8	180.2	(111)	+
帯広	11.6	(+1.3)	+*	98.0	(114)	○	9	182.7	(109)	+
広尾	12.5	(+1.2)	+*	182.0	(94)	○	12	181.0	(110)	+
室蘭	14.1	(+1.2)	+*	69.5	(68)	-	11	192.2	(116)	+*
苫小牧	12.7	(+1.2)	+*	72.5	(64)	-	8	162.6	(104)	○
浦河	12.9	(+0.6)	+	157.0	(133)	+	15	192.8	(112)	+
函館	13.7	(+1.2)	+	62.5	(59)	-	9	190.4	(116)	+*
江差	14.7	(+1.0)	+*	97.0	(92)	○	9	162.0	(117)	+
青森	14.5	(+1.0)	+	183.0	(154)	+	16	163.9	(114)	+
深浦	14.5	(+0.9)	+	226.5	(133)	+	13	146.7	(116)	+
むつ	13.8	(+1.1)	+*	107.5	(89)	○	11	191.2	(127)	+*
八戸	14.4	(+0.9)	+*	81.5	(74)	○	12	190.3	(122)	+*
秋田	15.2	(+0.7)	+	288.5	(164)	+*	17	158.3	(111)	+
盛岡	13.4	(+0.8)	+	71.0	(65)	-	10	178.0	(126)	+*
大船渡	15.3	(+0.9)	+	93.0	(58)	-	6	174.6	(128)	+*
宮古	14.4	(+0.8)	+	162.0	(98)	○	8	178.7	(119)	+
仙台	16.7	(+1.0)	+*	46.5	(31)	-	6	203.0	(138)	+*
石巻	15.5	(+0.5)	+	75.5	(55)	-	6	210.7	(139)	+*
山形	14.7	(+0.6)	+	53.5	(51)	-	12	165.5	(125)	+*
新庄	13.5	(+0.3)	○	190.5	(122)	+	17	116.7	(111)	+
酒田	16.3	(+0.7)	+	219.5	(116)	+	19	154.1	(113)	+
福島	16.0	(+0.4)	○	51.5	(37)	-	5	184.2	(138)	+*
若松	14.1	(0.0)	○	69.5	(62)	-	11	140.3	(115)	+
白河	14.4	(+0.4)	○	81.0	(49)	-	5	210.2	(157)	+*
小名浜	17.7	(+0.8)	+	106.5	(55)	-	9	229.2	(156)	+*
水戸	17.0	(+0.4)	+	136.0	(73)	○	6	214.6	(153)	+*
館野(つくば)	16.8	(+0.2)	○	120.0	(62)	-	8	197.4	(143)	+*
宇都宮	17.0	(+0.3)	○	120.0	(69)	○	6	207.2	(148)	+*
日光	9.5	(-0.1)	○	125.5	(52)	-	7	159.7	(130)	+*
前橋	17.7	(+0.6)	+	92.0	(65)	○	6	224.4	(144)	+*

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
熊谷	18.3	(+0.7) +	102.5	(58) ○	6	217.9	(151) +*
秩父	15.7	(+0.2) ○	77.5	(38) -	5	204.9	(159) +*
東京	18.9	(+0.9) +	147.0	(63) ○	6	200.6	(155) +*
大島	19.4	(+0.5) +	219.5	(54) ○	8	196.5	(150) +*
三宅島	21.0	(+0.2) ○	211.5	(50) -	11	163.0	(157) +*
八丈島	21.0	(0.0) ○	157.5)	(33) -*	10	152.3)	(142) +*
父島	25.9	(-0.5) -	235.0	(166) +	12	141.7	(82) -*
千葉	19.7	(+1.1) +	110.5	(49) -	8	206.9	(157) +*
銚子	20.0	(+0.8) +	203.5	(75) ○	6	215.9	(157) +*
館山	18.8	(+0.2) ○	200.0	(78) ○	7	202.1	(148) +*
勝浦	19.5	(+0.7) +	204.0	(69) ○	7	209.2	(153) +*
横浜	19.5	(+1.0) +	134.5	(56) -	4	210.6	(153) +*
長野	14.1	(-0.3) ○	41.5	(41) -	5	184.4	(121) +*
本松	13.5	(-0.4) ○	85.5	(67) ○	6	211.5	(131) +*
諏訪	12.7	(-0.7) -	132.5	(97) ○	7	206.9	(127) +*
軽井沢	10.0	(-0.5) -	91.0	(60) ○	7	208.0	(148) +*
飯田	14.1	(-0.9) -	104.0	(64) -	8	199.1	(129) +*
甲府	17.2	(+0.1) ○	68.5	(43) -	6	230.3	(144) +*
河口湖	12.9	(-0.1) ○	74.5	(32) -	6	193.8	(144) +*
静岡	19.5	(+0.1) ○	174.5	(70) ○	9	221.1	(140) +*
浜松	19.4	(-0.2) ○	174.5	(84) ○	11	231.3	(142) +*
御前崎	19.9	(0.0) ○	321.5	(126) +	7	225.7	(139) +*
三島	18.5	(0.0) ○	145.5	(67) ○	9	208.0	(139) +*
石廊崎	20.1	(+0.4) +	108.5	(56) -	11	209.6	(128) +*
網代	19.1	(+0.4) +	174.0	(73) ○	9	190.4	(151) +*
名古屋	18.3	(-0.3) -	116.5	(71) ○	10	217.4	(129) +*
伊良湖	18.9	(-0.2) ○	162.5	(73) ○	8	212.3	(129) +*
岐阜	18.2	(-0.5) -	77.5)	(48) -	8	211.0	(122) +*
高山	12.6	(-0.9) -	115.5	(74) ○	11	151.5	(118) +
津	18.5	(-0.3) -	110.5	(59) -	9	207.8	(126) +
上野	16.2	(-0.5) -	90.0	(61) -	10	159.0)	(111) +
尾鷲	18.8	(0.0) ○	179.0	(35) -	7	193.5	(142) +*
四日市	17.1	(-0.4) -	108.0	(59) ○	8	196.7	(128) +*
新湊	16.7	(0.0) ○	180.0	(114) +	16	150.7	(109) ○
相川	17.7	(+0.5) +	134.0	(101) ○	16	167.6	(114) +
高田	16.3	(-0.1) ○	377.0	(176) +*	17	160.0	(121) +*
富山	16.9	(-0.1) ○	166.5	(97) ○	16	168.3	(118) +
伏木	16.8	(-0.2) ○	119.0	(74) -	14	175.7	(120) +*
金沢	17.8	(+0.2) ○	173.5	(98) ○	13	180.0	(118) +
輪島	16.3	(0.0) ○	263.0	(154) +*	18	146.9	(105) ○

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)	
福井	16.7	(-0.4) -	216.0	(140) +	16	175.9	(114) +	
	敦賀	17.9	(-0.2) ○	164.0	(107) ○	16	176.2	(121) +
彦根	17.5	(-0.2) ○	79.0	(56) -	11	195.3	(120) +	
京都	18.2	(-0.2) ○	60.5	(42) -	9	199.8	(128) +*	
	舞鶴	16.7	(-0.3) -	68.5	(38) -	14	162.0	(126) +*
大阪	19.3	(-0.2) ○	77.5	(57) -	9	213.7	(129) +*	
神戸	19.6	(-0.2) ○	49.5	(42) -	8	216.6	(128) +*	
豊岡	16.6	(0.0) ○	99.5	(58) ○	11	161.2	(140) +*	
姫路	17.8	(-0.1) ○	40.5	(37) -*	6	210.7	(126) +*	
洲本	18.3	(0.0) ○	60.5	(33) -	8	195.4	(127) +*	
奈良	17.3	(-0.4) -	91.5	(68) -	9	191.2	(128) +*	
和歌山	19.2	(-0.1) ○	70.0	(44) -	8	212.9	(125) +*	
	潮岬	20.0	(-0.3) ○	189.5	(66) -	8	240.8	(142) +*
岡山	18.0	(0.0) ○	29.5	(31) -*	4	208.5	(122) +*	
	津山	15.7	(-0.3) -	46.0	(46) -	4	190.8	(124) +*
広島	18.9	(+0.1) ○	8.5	(8) -*	4	221.5	(124) +*	
	呉	19.4	(+0.2) ○	22.0	(23) -*	4	221.5	(126) +*
	福山	17.9	(-0.1) ○	22.0	(24) -*	4	218.1	(125) +*
松江	17.8	(+0.4) +	57.5	(46) -	7	197.7	(128) +*	
	西郷	17.0	(+0.1) ○	53.5	(44) -*	8	198.6	(130) +*
	浜田	18.4	(+0.7) +	28.0	(25) -*	6	198.7	(121) +
鳥取	17.4	(+0.2) ○	101.5	(66) -	11	185.1	(127) +*	
	米子	17.7	(+0.2) +	51.5	(39) -	8	179.2	(114) +
	境	18.2	(+0.4) +	59.5	(45) -	6	186.2	(120) +
徳島	19.3	(0.0) ○	42.5	(21) -*	4	202.0	(123) +*	
高松	19.2	(+0.2) ○	27.0	(22) -*	5	206.4	(125) +*	
	多度津	19.5	(+0.5) +	19.5	(18) -*	5	214.4	(125) +*
松山	19.4	(+0.3) ○	7.5	(7) -*	2	215.9	(124) +*	
	宇和島	19.1	(-0.2) ○	16.0	(12) -*	1	211.9	(123) +*
高知	19.6	(-0.3) ○	30.0	(14) -*	3	219.2	(122) +	
	宿毛	19.3	(-0.3) ○	26.0	(15) -*	4	239.6	(132) +*
	清水	20.8	(-0.6) -	56.0	(22) -*	3	237.4	(132) +*
	室戸岬	19.5	(-0.3) ○	39.5	(16) -*	5	230.4	(129) +*
山口	17.5	(-0.2) ○	4.5	(5) -*	3	212.8	(126) +*	
	下関	20.0	(+0.3) ○	20.5	(24) -	5	228.4	(130) +*
	萩	17.9	(+0.2) ○	20.0	(19) -*	4	192.3	(120) +
福岡	19.8	(+0.2) ○	23.0	(24) -	3	210.5	(120) +	
	飯塚	17.8	(0.0) ○	17.5	(20) -*	4	213.2	(125) +

地名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
大分	19.2	(+0.1) ○	39.0	(27) -*	2	208.9	(127) +*
日田	17.1	(-0.5) ○	24.0	(27) -	4	210.5	(129) +*
長崎	19.8	(-0.2) ○	51.0	(50) ○	4	211.6	(118) +
厳原	18.9	(+0.2) ○	9.5	(8) -*	3	219.9	(136) +*
平戸	19.3	(+0.1) ○	22.0	(19) -	3	212.4	(122) +
佐世保	19.7	(-0.3) ○	29.0	(29) -	2	226.2	(120) +
雲仙	14.7	(-0.6) -	46.0	(35) -	4	171.4	(122) +
福江	19.3	(-0.2) ○	38.0	(29) -	2	221.8	(125) +*
佐賀	19.1	(0.0) ○	31.0	(34) -	4	229.6	(122) +
熊本	19.1	(-0.5) ○	23.5	(27) -	2	229.2	(123) +
人吉	16.7	(-1.3) -	90.0	(83) ○	5	202.9	(124) +
牛深	20.8	(-0.3) ○	108.5	(112) +	5	232.7	(122) +
宮崎	19.3	(-0.7) -	99.5	(51) -	6	216.1	(124) +
延岡	18.7	(-0.5) ○	43.0	(21) -	2	227.3	(128) +*
都城	18.2	(-0.9) -	90.5	(69) ○	6	216.8	(126) +
油津	19.9	(-1.0) -	80.5	(35) -	9	197.7	(123) +
鹿児島	20.7	(-0.9) -	104.5	(100) ○	6	224.5	(122) +
阿久根	19.6	(-0.4) ○	129.5	(138) +	5	231.5	(124) +
枕崎	19.7	(-1.1) -	53.5	(56) ○	8	211.7	(116) +
屋久島	21.4	(-0.8) -	491.5	(159) +	11	137.2	(118) +
種子島	21.5	(-0.8) -	180.0	(93) ○	10	191.9	(122) +
名瀬	23.8	(-0.1) ○	122.5	(47) -	9	153.4	(142) +*
沖永良部	25.5	(+0.4) ○	37.5	(22) -*	7	207.3	(122) +*
那覇	26.0	(+0.5) ○	81.0	(45) -	9	185.9	(114) +
名護	25.5	(+0.5) +	50.5	(27) -	7	209.1	(126) +*
久米島	25.7	(+0.4) ○	47.5	(31) -	9	171.1	(105) ○
宮古島	26.5	(+1.0) +*	31.0	(20) -*	8	172.9	(114) +
石垣島	26.8	(+0.8) +	61.5	(29) -	11	148.4	(94) -
西表島	26.1	(+0.7) +	133.0	(62) ○	16	134.5	(97) ○
与那国島	26.1	(+0.7) +	169.0	(71) ○	18	97.3	(74) -
南大東島	25.8	(-0.1) ○	88.5	(49) -	12	201.8	(113) +

(注) 1. 平年値は1991～2020年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には以下のように表現できる。

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に「) や]」がある場合は、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができる。]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

6 順位更新表 2023年10月

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「＝」で表す。

月平均気温の高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
1	小樽	13.0 =	+1.2	13.0 (1998)	1943	11.8
	札幌	13.3 =	+1.2	13.3 (2019)	1876	12.1
	帯広	11.6	+1.3	11.4 (2012)	1892	10.3
	釧路	12.5	+1.5	12.4 (2012)	1910	11.0
	根室	13.2	+1.6	12.8 (2020)	1879	11.6
2	稚内	13.2	+1.9	13.3 (1990)	1938	11.3
	北見枝幸	11.8 =	+1.5	11.9 (1990)	1942	10.3
	羽幌	12.5 =	+1.3	12.6 (1935)	1921	11.2
	雄武	11.3	+1.5	11.5 (2005)	1942	9.8
	留萌	12.0 =	+0.9	12.1 (2005)	1943	11.1
	紋別	11.8 =	+1.3	12.0 (2005)	1956	10.5
3	広尾	12.5	+1.2	12.6 (2012)	1958	11.3
	網走	12.2	+1.3	12.5 (2005)	1889	10.9
	岩見沢	11.8 =	+1.0	11.9 (1998)	1946	10.8
	寿都	13.4 =	+1.3	13.8 (1935)	1884	12.1
	苫小牧	12.7 =	+1.2	13.2 (1998)	1942	11.5
	江差	14.7 =	+1.0	15.1 (1998)	1941	13.7
	むつ	13.8 =	+1.1	14.3 (2019)	1935	12.7
	仙台	16.7 =	+1.0	16.9 (2019)	1926	15.7
千葉	19.7 =	+1.1	20.1 (2019)	1966	18.6	
宮古島	26.5 =	+1.0	27.2 (2016)	1937	25.5	

月平均気温の低い方からの順位更新

3位以内はなし

月降水量の多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	高田	377.0	176	426.8 (1961)	1922	213.9
3	倶知安	247.0	193	273.3 (1957)	1944	128.2

月降水量の少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	山口	4.5 =	5	4.5 (2003)	1966	91.3
	松山	7.5	7	14.6 (1932)	1890	113.0
2	萩	20.0	19	18.0 (2003)	1948	107.5

	宇和島	16.0	12	13.0 (1997)	1922	129.8
	高知	30.0	14	23.5 (1988)	1886	207.5
	室戸岬	39.5	16	30.0 (1994)	1920	251.8
3	広島	8.5	8	1.5 (2003)	1879	109.2
	飯塚	17.5 =	20	7.3 (1936)	1935	89.5
	清水	56.0	22	20.0 (2015)	1940	254.2

月間日照時間の多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	白河	210.2	157	201.9 (1941)	1940	134.0
	小名浜	229.2	156	214.5 (1935)	1910	147.3
	熊谷	217.9	151	211.4 (1997)	1899	144.1
	水戸	214.6	153	210.7 (1997)	1899	140.6
	銚子	215.9	157	215.4 (1997)	1899	137.9
	東京	200.6	155	195.3 (1914)	1891	129.4
	横浜	210.6	153	205.7 (1997)	1905	137.3
	千葉	206.9	157	203.0 (1997)	1966	131.6
	潮岬	240.8	142	238.6 (2015)	1913	169.8
2	仙台	203.0	138	215.8 (2015)	1926	147.0
	宇都宮	207.2	148	207.7 (1997)	1897	140.3
	前橋	224.4	144	228.7 (1997)	1897	155.6
	河口湖	193.8	144	231.5 (1997)	1933	134.4
	秩父	204.9	159	216.3 (1997)	1926	128.7
	網代	190.4	151	202.8 (1997)	1937	126.0
	館山	202.1	148	212.4 (1997)	1968	137.0
	勝浦	209.2	153	219.5 (1997)	1912	136.5
	大島	196.5	150	200.3 (1997)	1939	131.4
	名護	209.1	126	235.2 (1977)	1966	166.2
3	福島	184.2	138	209.2 (2015)	1901	133.7
	諏訪	206.9 =	127	237.2 (2015)	1945	162.8
	甲府	230.3	144	240.9 (1997)	1900	159.6
	館野	197.4	143	216.4 (1997)	1921	138.4
	御前崎	225.7	139	243.4 (1997)	1932	162.3
	静岡	221.1	140	249.2 (1997)	1940	157.7
	三島	208.0	139	240.6 (1997)	1930	149.4
	三宅島	163.0	157	181.7 (1997)	1942	103.9
	豊岡	161.2	140	168.2 (2015)	1918	115.0

月間日照時間の少ない方からの順位更新

3位以内はなし

(注) 値の横に「=」がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている（資料不足値）。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計日数を参照されたい。
平年値とは1991～2020年の30年間の値を平均したものである。

○本資料では、特に記載のない限り全国の153の気象台等での観測値を用いています。ただし、地域平均については、それらから三宅島、八丈島、父島及び南大東島を除いた149地点での観測値を用いています。関連した各地点の所在地等の情報は、気象庁ホームページに掲載しています。

ホーム > 知識・解説 > 気象の観測 > 地上気象観測 > 地上気象観測地点一覧

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/chiten/sindex2.html>



(注意)

当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

また、最新のデータを追加した上で、毎月15日頃に気象庁ホームページの「日本の天候の特徴と見通し」で詳しく解説しています。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/>

